



紙面のガーデニング  
校内に咲く紫陽花

URAWAGAKUIN HIGH SCHOOL

# 浦学だより

Vol. 97

2017.6.1

TEL 336-0975

埼玉県さいたま市緑区代山172

TEL 048-878-2101 FAX 048-878-3335

<http://www.uragaku.ac.jp/>

発行者 ライフスキル教育推進部

編集者 浦和学院高等学校広報・企画局

## 校長挨拶

29年度指針

学校法人明星学園  
浦和学院高等学校  
校長

石原  
正規



この4月から、校長を務めることとなりました  
「石原 正規」と申します。  
よろしくお願ひ申し上げます。

本校は、「常に前向き、そこに夢と希望がある明るく開けた学園」となることを目指しています。そして、生徒一人ひとりの健康と安全を第一に考え、確かな基礎知識と積極的な応用力を備えた真の学力を身に付けるための授業を行うとともに、国際教養を身に付けるための様々な機会を設けています。生徒一人ひとりの、想像以上の未来につながる、「感じ、考え、行動する力」を育む多彩なライフスキル教育を展開し、本校独自の「21世紀型浦学教育」を推進しています。

健康と安全という面においては、本校は、健康と安全を推進する諸活動が、平成28年12月8日に国際的な基準で認められ、高等学校としては日本で初めての国際安全校(International Safe School)の認証を受けました。

ライフスキルとは、WHO(世界保健機構)が、「日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力」として定義した対人関係スキルや、共感性スキル、問題解決スキル、批判的思考スキル等の、言わば「よりよく生きるために力」です。本校では、様々な学校行事や生徒活動を通じて、ライフスキルを向上させる機会を設定しています。その中でも、東日本大震災の被災地である石巻・東松島の方たちや、長く続いた内戦による傷痕が随所に残るカンボジアの方たちとの交流活動は、本校独自のライフスキル教育となっています。ライフスキル教育の入り口は、「感じる力」を磨くことです。日本での「普通」が、必ずしも世界の「普通」ではありません。国際的多様性に

触れることで、当面する物事を「普通」のことだと無感動に見過ごさず、しっかりと「感じる」ことができるようになります。本校では、選択制の修学旅行、各種の留学制度、海外の姉妹校との交流等を行い、生徒達が国際的多様性に触れる機会を、数多く設定しています。

学習活動と進路活動の面では、特進類型においては、早朝学習の英語多読、夜9時まで開室している自習室、アクティブラーニングを導入した各科目的授業など、難関大学突破のための様々な取り組みが行われています。進学類型においても、それぞれの学力と進路希望に応じた授業を展開し、多彩な進学講座、数多くの大学短大との連携、各種の進路説明会など、様々な入試形態に応じた進路活動を展開しています。

このように、生徒一人ひとりの健康と安全を基盤に、国際教養・ライフスキル教育を推進するとともに、学習効率・進学実績の向上を図ることが、「21世紀型浦学教育」と名付けた浦和学院高等学校の学校方針です。

在校生の皆さんは、このような本校の生徒であることを自覚し、自分の人生を切り拓くための国際教養と、ライフスキルを向上させ、高校生としての本分である、学習活動と進路活動に励み、想像以上の未来をつかんで下さい。また、卒業生の皆さんは、こうした本校で学んだことを基盤として各自の個性を充分に活かし、それぞれの舞台で社会に貢献していただきたいと思います。

本校では、長年に渡り、生徒と教職員はもとより、保護者の皆様、後援会や同窓会の皆様、地域の皆様、そして様々な交流活動を通じて絆をつないだ全ての皆様方と連帯して「浦学ふあみり～」を形成し、「頑張る仲間をみんなで応援」の精神で生徒たちの挑戦と成長を応援して参りました。保護者の皆様におかれましても、今後は「浦学ふあみり～」の一員として、地域の皆様や後援会・同窓会の皆様、そして私たち教職員と一緒に頑張る生徒たちを応援して下さいますよう、お願い申し上げます。

## 部活動大会報告—全国大会



### テニス部 男子・女子

3年L組 岡 悠多  
(さいたま市立尾間木中学校出身)

3年L組 高橋 遥菜  
(立川市立立川第二中学校出身)

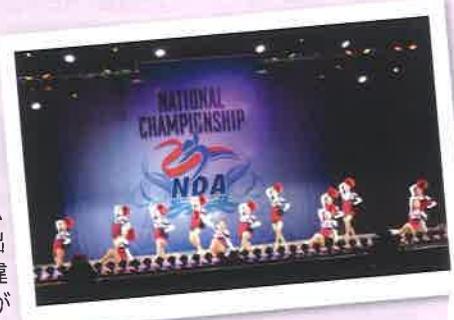
私たち男女テニス部は、3月21日から行われた全国選抜高校テニス大会に出場し、結果は男女ともに団体戦1回戦敗退、個人戦2回戦敗退となりました。男子は昨年全国選抜に出場することが出来なかったので全員が初めての全国選抜でした。そのせいか全国の雰囲気に飲まれ、自分たちのプレーができず悔いの残る試合になってしまいました。女子は全員の力を合わせ28回目の全国出場となりました。全国で勝つことは相当厚い壁で、岡山学芸館高校に2-3で負けてしまいました。勝つことは出来ませんでしたが、チームがまとまることが出来た試合でした。1回戦突破できず、悔しい結果になりましたが、インターハイに向けてチーム一丸となって頑張ります。これからも応援よろしくお願いします。



### パワーリフティング部

2年I組 山田 真哉  
(上尾市立原市中学校出身)

私たちパワーリフティング部は、3月26日に行われた全国大会に出場することができました。コンディションが悪い中、なんとか粘りをみせ、私は個人戦で優勝する事が出来ました。他にも7人の部員が入賞しました。今年の夏の全国大会では、3年生最後の大会という事もあり、チーム一丸となり団体戦優勝を目指して頑張ります。そして、6月にはペラルーシでノーギアの世界大会があるので、そこに照準を合わせ日々の練習を大切にして少しでも記録を伸ばせればと思います。みなさん、これからもパワーリフティング部を応援よろしくお願いします。



### ソングリーダー部

3年R組 田中 莉央  
(春日部市立豊春中学校出身)

私たちソングリーダー部は、3月3日よりアメリカ・フロリダ州・オーランドにて開催された「NDA National Championship」に出場しました。日本の大会とは全く違うもので、会場から何からすべてが新鮮で、環境に慣れるまでが大変でした。前日の夜までチーム全員で話し合いを重ね、学年の枠を越えてコミュニケーションを高めていきました。そして本番、ひとりひとりが1つの目標に向かい、精一杯の演技をしました。こんなにも最高の舞台で、最高の盛り上がりのなかで踊る事ができ、良かったです。結果として、自分達の目標としていた順位には届きませんでしたが、今回このような経験ができ、本当に良かったです。応援してくださった保護者の方々や学校、コーチや先生方に、感謝の気持ちを結果で恩返しできるよう、これからも頑張りたいと思います。



### ソングリーダー部

3年G組 神山 茉熙  
(さいたま市立春里中学校出身)

私たちソングリーダー部は、3月28日に幕張メッセで行われた「USA Nationals」に出場しました。SPLASH Jr.は応援での参加となりましたが、チアスピリットに基づいて休むことなく声援を送り続けました。SPLASH Jr.は、1年の集大成となる大会で1位を取れるようにみんなで意見を出し合いながら工夫して練習に取り組みました。結果は惜しくも2位となってしまいましたが、全員が悔いが残ることなく踊りされました。この大会に出場するまでに、多くの引退した先輩方が来て指導してくださったり、先生方やコーチ、保護者の方々などたくさんの方々に支えられていることを改めて実感しました。次の大会では、今回で得た課題を改善して結果で恩返しできるよう、新しく入ってくる1年生と一緒に頑張ります。これからも応援よろしくお願いします。

平成  
28年度

## 入試を振り返って

進路指導部長 高橋 広和

昨年度の大学受験を振り返ると、全国的にはそれほど大きな変化のない状況であった。それだけに、地道に対策をしてきた受験生たちが、実力通りの大学へ合格した年であったと言える。このような状況の中で、今春卒業していった本校の生徒たちは、これまでの実績を大きく上回る結果を残してくれた。生徒たちの努力が、実を結んだことに対して素直に嬉しく思う。

現在の大学入試は、いわゆる浪人をする受験生はほとんどおらず、ほぼ現役生だけで行われているのが現状である。それゆえほとんどの人にとって受験は、一生に一度の経験となる。2020年度から導入される新テスト(大学入学希望者学力評価テスト)がこのような傾向にさらに拍車をかける。「浪人覚悟」という甘い考えは許されない。だからこそ生徒諸君には後悔のないように、全力で受験に取り組んでもらいたい。

毎年第一志望校への合格を勝ち取る生徒は、早い時期に志望校を決定している。目標がはっきりすれば、何をどれだけやれば合格に近づくことができるのかが明確になる。受験勉強の目的は、偏差値を上げることではなく、あくまでも志望校に合格することだ。目的が決まれば覚悟が決まり、困難にも耐えられる。一生に一度の経験だからこそ、納得ゆくまで頑張ってほしい。全力で取り組むことができたならば、この経験はおそらく今後訪れるであろう様々な困難を乗り越える大きな力となるはずである。

### 國學院大學経済学部

#### A.O入試



文理選抜コース  
**萱野 太郎**  
(川口市立領家中学校出身)

私が受けた國學院大學のA.O入試には1500字の志望理由書が課題としてありました。もともと作文などが苦手だった私はなかなか書き終えることができませんでした。それに加えて同じ受験生たちが書き終わり始め、面接練習を始めていく様子を見てもうダメかもしれないと思いつつになっていましたが、担任の先生や進路指導の先生方が最後まで親身になって助けてくださいました。提出期限に間に合わせることができ、最終的に合格することができました。

私は今回の受験を通じて自らを律することの大切さを知ることができました。以前の私は基本的に行動することは少なかったのですが、面接練習など自らが動かないとできないため、基本的に動くようになりました。自らを律する能力は大学進学後や社会に出たときに必要になってくるので大切にしていきたいと感じました。

### 文教大学人間科学部

#### 公募推薦



文理進学コース  
**林 将史**  
(草加市立谷塚中学校出身)

私が、文教大学を目指したのは、2年の3学期からです。その時は、漠然と指定校推薦で進学出来るものだと思っていました。しかし、推薦をとれず、公募推薦での合格を目標に学習しました。勉強を始めたのは入試の1ヶ月前です。毎日放課後、小論文の練習をし、進路指導の先生方や、担任の先生に面接の練習をして頂き、万全な状態で入試に挑む事が出来ました。その中でも、自分で意識した事は、やるべきことだけやると事、やりたい事を我慢する事です。これはあくまでも、自分のやり方です。大切なのは、自分が納得する事だと思います。誰かと同じ方法の勉強でも良いと思いますが、それで自分が納得できなければ身につきません。自分の型でマイペースに取り組む事が大切です。後は、諦めない事です。この大学に行きたいと言う強い意志を持って取り組めば、合格に近づくと思います。自分の意志を大切にし、頑張って下さい。

### 法政大学文学部

#### 指定校推薦



文理選抜コース  
**野津 彩香**  
(川口市立領家中学校出身)

私は高校入学直後から、「3年生になった自分にできるだけたくさん選択肢を与えるように」ということを意識して生活していました。評定を気にするだけでなく、資格取得や校内スピーチコンテスト出場などアピールポイントをたくさん作れるように色々なことに積極的に取り組みました。また、より高いレベルの大学を受験する可能性も考え、偏差値を上げていく努力もしました。スムーズに納得のいく進路を決める事ができたのは、このような努力の積み重ねのおかげだと思います。入試は志望理由書と面接で、どちらも自分の気持ちをうまくまとめるのが難しかったのですが、先生方に繰り返し指導していただいたことが自信になり、当日は落ちついで臨むことができました。

3年間どれだけ頑張ってきたかで進路活動は大きく変わっています。後輩の皆さん、自分の夢を叶えられるよう頑張ってください。

### 筑波大学体育専門学群

#### スポーツ推薦



文理進学コース  
**高野 嶋太**  
(府中市立府中第四中学校出身)

私は3年間ハンドボール部に所属していました。大学への進学を決断した理由は、ハンドボールでさらに上を目指したいと考えたからです。大学入試には小論文と面接と実技が必要であったため、先生方に毎日指導していただき、本番は自信をもって臨むことができました。先生方に支えていただいたことも勿論ですが、3年間やり通してきたことが非常に役立っていると感じました。

大学入試だけなく全てのことに言えることですが、目の前のことについて全力で取り組むことは大切だと思います。これらの大学進学を考えている人もそうでない人もまずは何か自分自身の目標を決め、その決めた目標に向かって最後まで諦めることなく全力でやり抜くことが一番の近道だと思います。将来への第一歩として、進路活動を精一杯頑張ってください。

### 上智大学外国語学部

#### 公募推薦



グローバルコース  
**ゴーマン レイア**  
(さいたま市立片柳中学校出身)

私は高校3年間で経験したことを活かし、公募推薦を利用して大学を受験しました。

受験をするにあたり、自分の事を見つめ直す事が大切だと思います。例えば、自分の得意な事、今までの経験で得たものなど全てを整理していくうちに、将来の目標や大学で学びたいことが明確になると思います。

また、適性試験と面接に向けて計画的に準備することが大切です。早期のうちに志望理由書やレポートまた小論文などに取り組むことが合格に繋がるのだと思います。

この大学受験を通して、先生方をはじめたくさんの人のサポート、指導があり、大学合格だけでなく、人として大きく成長出来たと感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

これから受験を迎える皆さんも感謝の気持ちを忘れずに、目標に向かって後悔することがないよう頑張って下さい。

### 埼玉医科大学保健医療学部

#### 指定校推薦



保健医療コース  
**山田 友梨佳**  
(野木町立野木第二中学校出身)

私は色々な大学のオープンキャンパスに参加し自分の目で実際に見てきました。最終的に志望校が決定したのは3年時の夏休み後半で遅くなってしまった少し焦りました。9月から本格的に受験に向け動き始め、一番力を入れたのは面接です。指定校推薦でも決して安心できないと聞いていたため全力で取り組みました。最初はアノックするだけでも緊張しましたが、先生方の指導を受け回数を重ねるにつれ和らぎ、良い形で仕上げることができました。

これらの受験活動を通して周りにいる人の言葉を素直に受け止めることと、何があっても諦めず前を向くことが大切だと実感しました。入試当日はとても緊張しましたが今までやってきたことを信じることができたのも大きかったです。支えてくれた家族や友人、指導してくださった先生方への感謝の気持ちでいっぱいです。

### 東京造形大学造形学部

#### 指定校推薦



アートコース  
**大澤 美月**  
(草加市立草加中学校出身)

私は1年次より、志望校が決まっていたので、指定校推薦での受験を考えていました。その推薦をいただくには、高い評定や出席が良好であること、授業を大切にし、家庭学習を計画的に行なうことが大切だと思いました。さらに部活動や委員会に参加、資格取得をして学校行事に積極的に参加し、学校生活を充実させることを徹底した結果、成績が上昇し、推薦をいただけるようになりました。受験までの準備で志望理由書を完成させるのですが、先生に何度も見ていただきました。作文とは異なるので志望理由を限られた字数で表現する難しさを知りました。その後、面接試験に向けて練習を始めました。先生方に毎日面接練習をしていただいた結果、当日は自信をもって臨むことができました。受験にあたり大切なのは心配しすぎないということです。考えすぎて失敗しては元も子もありません。合格したい気持ちと自信は受験を乗り越える最大の武器になると思います。

### 青山学院大学総合文化政策学部

#### スポーツ推薦



総合進学コース  
**アルキ アブドゥル アズィーズ**  
(越谷市立平方中学校出身)

私は、3年間バーフリーフィング部に所属していました。そのためバーフリーフィング部のある大学を志望したいと考えました。はじめは指定校推薦を利用して大学受験を希望していました。しかし、考えていた大学には自分の条件が合わず諦めました。悩んでいたときに部活動のOBの先輩がこのスポーツ推薦で入学したことを知り、実際にオープンキャンパスも行き、受験することを決めました。入試には志望理由書と面接が必要だったため、先生方に指導していただき安心して入試に臨むことができました。

これから受験を迎える皆さんも、悩み考え目の前のことを全力で取り組み、悔いのないように頑張って下さい。

国公立大学	
会津大	2
茨城大	1
宇都宮大	1
北見工業大	1
釧路公立大	4
埼玉大	2
滋賀大	2
筑波大	1
電気通信大	1
東北大	1
富山大	3
長野大	5
新潟県立大	4
琉球大	2
国公立大学 小計	30

私立大学	
芝浦工業大	2
秀明大	1
十文字学園女子大	7
淑徳大	18
尚美学園大	11
女子栄養大	1
女子美術大	3
昭和女子大	1
上智大	4
上武大	8
城西大	33
城西国際大	13
白百合女子大	3
獨協大	17
杉野服飾大	2
駿河台大	8
成蹊大	4
清泉女子大	5
聖学院大	1
聖徳大	8
西武文理大	12
専修大	35
大正大	5
大東文化大	44
宝塚大	3
拓殖大	8
玉川大	3
多摩美術大	1
千葉工業大	6
千葉商科大	3
中央大	13
中央学院大	4
津田塾大	1
武蔵大	4
武蔵野大	1
帝京大	52
帝京科学大	18
帝京平成大	23
杏林大	2
工学院大	10
皇學館大	1
国学院大	19
國土館大	62
駒澤大	9
駒沢女子大	1
埼玉医大	1
埼玉学園大	15
埼玉工業大	7
産業能率大	2
実践女子大	5
四天王寺大	1
東京聖栄大	1
私立大学 小計	901

私立大学	
東京造形大	4
東京電機大	7
東京都市大	3
東京農業大	4
東京福祉大	1
東京富士大	1
東京未来大	4
東京理科大	2
東邦医療大	1
東邦大	1
東洋大	47
東洋学園大	6
獨協大	17
二松学舎大	5
日本大	28
日本医療科学大	6
日本ウェルネススポーツ大	1
日本経済大	1
日本工業大	11
日本女子体育大	3
日本体育大	1
日本文化大	3
日本保健医療大	10
日本薬科大	5
人間総合科学大	10
阪南大	1
文化学園大	4
文教大	12
文京学院大	12
文星芸術大	1
法政大	13
武蔵大	4
武蔵野大	1
武蔵野美術大	3
明海大	8
明星大	5
明治大	6
明治学院大	2
目白大	18
ものづくり大	5
ヤマザキ学園大	2
立教大	11
立正大	10
立命館大	2
流通経済大	9
麗澤大	4
和光大	1
私立大学 小計	901

短期大学	
青山学院女子短大	1
秋草学園短大	1
大妻女子大短大	1
共立女子短大	2
国際学院埼玉短大	2
埼玉医大短大	1
埼玉女子短大	4
埼玉東萌短大	1
淑徳大短大	4
城西短大	1
女子美術大短大	2
聖徳大短大	1
戸板女子短大	2
東京家政大短大	1
東京成徳短大	1
目白大短大	2
山野美容芸術短大	2
短期大学 小計	29

看護・医療系専門学校	
浦和学院専門	1
医学アカデミー	1
戸田中央看護専門	1
埼玉医療福祉社会看護専門	1
晃陽看護栄養専門	1
さいたま柔整専門	2
慈恵看護専門	2
昭和医療技術専門	1
新東京歯科衛生士学校	1
聖和看護専門	1
太陽歯科衛生士専門	1
中央医療技術専門	1
帝京高等看護学院	1
東京柔道整復専門	1
東武医学技術専門	1
東洋公衆衛生学院	1
日本医科学大学校	1
日本柔道整復専門	1
北里大学看護専門	2
了徳寺学園医療専門	1
医療系専門学校 小計	23

専門学校	
HAL TOKYO	1
アミューズメントメディア	1
ハリウッドビューティー専門	3
ヒコ・みづのジュエリーカレッジ	2
高山美容専門	1
国際文化理容美容専門	2
国際理容美容専門	1
埼玉コンピュータ&医療事務	1
埼玉県理容美容専門	1
埼玉自動車大学校	3
山手調理製菓専門	1
山野美容専門	1
織田栄養専門	1
神田外語学院	1
成田つくば航空専門	1
ビジョナリーアーツ	1
東京ネットウエイブ	1
日本ホテルスクール	1
早稻田美容専門	2
代々木アニメーション学院	1
大宮ビューティーアート	1
大宮医療秘書専門	1
大原専門	4
中央理容専門	1
東京アナウンス学院	1
東京医薬専門	1
東京スポーツクリエーション専門	1
東京デザイナー学院	1
東京ビジュアルアーツ	1
東京ヘアビューティー専門	1
東京マックス美容専門	1
東京美容専門	1
東京服飾専門	1
東京福祉保育専門	1
東京文化プライダル専門	1
東放学園専門	2
日本外国語専門	1
日本工学院専門	5
日本書道専門	1
日本美容専門	3
武蔵野調理師専門	1
服部栄養専門	1
文化服装学院	2
専門学校 小計	61

## 平成28年度 現役生 受験結果

(合格者延べ数)

### 受験結果(実数)

在籍	890	四年生大学	750
進学者	862	短期大学	29
就職者	9	専門学校	83
大学進学率		84.3%	
大学・短大進学率		87.5%	
区分	進学数	現役合格率	
国公立大学	30名	84.3%	
私立大学	720名		
短期大学	29名	3.2%	
大学・短大 計		779名	87.5%
専門学校	83名	9.3%	
総計		862名	96.9%

\*上記は、大学・短大合格者のうち、入学辞退した進学準備者を含んだ人数。

大学・短大  
現役合格率  
**87.5%**

## 大学合格者体験記

### 東北大学法学部



リーダーズコース  
渡邊 優姫  
(春日部市立大増中学校出身)

### 一般入試

私の家は兄弟が多いため、常に騒がしく、勉強に集中しにくい環境でした。そこで、夜9時まで開いている学校の自習室を利用し、わからないところがあれば先生方に教えてもらっていました。躊躇をすぐに解決できる環境は受験勉強をする上でとても重要だと思います。

また、自分に合ったレベルの授業のおかげで弱点を克服しながら強みを伸ばすことができました。

良い結果が出れば一緒に喜び、思うように結果が出なければ優しく勇気付けてくれた先生方、家族、友人には感謝の気持ちでいっぱいです。

受験は自分との戦いであり、辛いものです。でもやり終えた今、諦めないで本当に良かったと思います。

これから受験をする人もそう思えるよう、頑張ってほしいです。

### 明治大学商学部



アズソルートコース  
野澤 夏生  
(川口市立戸塚西中学校出身)

### 一般入試

この大学、学部を視野に入れ始めたのは3年の9月頃だったと思います。10月の頭に昨年の問題を解き、微妙な正答率だったので英語と世界史の問題集を1冊ずつ購入、一日一題を目標に解き進めました。12月辺りからはセンター対策に時間を割いたため、私大二次の勉強から遠ざかっていましたが、センター試験失敗を皮切りに私大対策を再開し、どうにか合格を掴むことができました。私大入試は最後まで分かりません。頑張ってください。

ここからは蛇足承認で国立志望者に向けて書きます。私立併願でいわゆる滑り止めを確保する場合、私立合格後の心の持ち方は本当に大事です。一人闘っている最中に届く合格通知はラストスパートで気がゆるんでしまいます。ホッと一安心程度に留めないと国立で悔しい思いをするので注意してください。そして気をゆるめず、最後までがんばって下さい。

### 電気通信大学情報理工学部



サイエンスコース  
佐藤 悠  
(川口市立仲町中学校出身)

### 一般入試

私は、興味のある分野が工学部・理工学部にあり、就きたい職業に携わるために国公立または難関私立大に行く必要があったので、特進類型の理系で受験に向けて勉強しました。一年次の前期は全然勉強していなかったのですが、後期あたりから徐々に勉強するようになりました。二年次は平日二時間、休日四時間の勉強時間を目標にし、また、毎日寝る前に英語の長文の音読をするよう心がけていましたが、達成されない日が多くありました。

二年次後半及び三年次には本格的に睡眠時間を削りながらの生活になりました。結果としては、ずっと目指していた大学へは行けませんでしたが、一・二年次から少しづつ勉強していたおかげで、首都圏内の国立に合格できたので、無駄ではなかったと思います。また、勉強していく上で自分に合った勉強法を模索しながら進めていくことが大事だと思います。ぜひ励んで下さい。

### 埼玉大学教育学部



プログレスコース  
大井 要佑  
(さいたま市立大谷口中学校出身)

### 一般入試

私は高校入学時から何事にも悔いの残らないように、たくさんのこと挑戦してきました。特進類型での毎日の勉強は決して楽なものではありませんでした。しかし国公立大学に合格するという目標があったので最後まであきらめることはありませんでした。また、毎日の生活の中で友達と競い合ったり、励まし合ったりしたこと自分の勉強のモチベーションの向上につながりました。先生方には進路相談や分からないことを教わったりと大変お世話になりました。私が埼玉大学に合格できたのは親や先生方、友達に支えてもらったおかげです。

受験に向かっていくにあたって大切なことは、早めに目標を立てることだと思います。これから受験を迎える皆さんも、目標に向かって努力する中で悔いの残らないような高校生活を送ってください。

## 修学旅行



進学類型 3年G組 須藤結奈 (さいたま市立大谷口中学校出身)

私はこの修学旅行で初めて海外に行きました。今まで日本でしか生活をした事がなかつたので、他国の生活スタイルを経験することができてよかったです。同時に様々な事を学ぶことができました。特にホームステイの体験は一番印象に残っています。ホストファミリーは7年学生を受け入れている家で、緊張している私たちにたくさん話かけていただきとてもうれしかったです。しかし、どう答えれば自分の気持ちが正確に伝わるのかが分からず、英語が話せたらいいのにという思いを強く感じました。帰ってきた今でも、もっと勉強してから行けばよかったなと後悔が残ります。その思いを忘れずに英語の学習に取り組んでいこうと思います。アメリカで生活している中で一番辛かったのは食事です。何を頼んでもサイズが大きく、油っこいものばかりだったので、食材のよさを生かした味つけかつヘルシーな日本食を毎日食べられる事は本当に幸せなことなのだと改めて認識しました。また、お風呂もボディソープが泡だなくて十分に体を洗えなかったり、シャワーのみだったりして湯船につかれるありがたみを感じました。ロサンゼルスにはホームレスの方も多く存在している事を教えてもらい、家があてきちゃんと生活ができるという当たり前だと思っていた事が実は素晴らしいことなんだということにも気が付きました。このように、両国の違いを見出し、日本という国や自分がどれだけ恵まれているかということを再認識でき、とてもよい体験だったと思います。それから、それぞれの国のよさをシェアすれば、よりよい生活ができる、国の発展へつながるのではないかと考えます。そのためにも、英語はとても重要になります。もし、英語が話せるようになれば、今度はまた違う国に行って、またその国と日本の違い、また他国とアメリカの違いを発見していきたいと思います。(アメリカコース選択)



特進類型 3年D組 宇野優那 (さいたま市立七里中学校出身)

私は、この修学旅行を通して、改めて感じることが出来たことが2つあります。

1つめは、人と対話する上で、相手との距離感を考えながらも積極的にコミュニケーションを取りにくことの難しさ、そして大切さです。私たちのホストファミリーは、私たちが想像していた家庭とは少し違っていて多くの外出をしたり、家の中での家族単位で行動するのではなく、1人1人で作業をするような家庭でした。そのため、どこまで家族の方々に踏み込んでいいのかが分からず悩んだ日もありました。ただでさえ言葉が違い、文化も違い、習慣さえも違う環境下で生活することに対する不安が大きかった中だったため、なおいっそ自分にかかるものがとても重く感じられました。しかし、あまり考え込んだりせずに、「この家庭はこのような家庭なんだ」と割り切り、自分たちが家族との付き合いを変えたことで、いつの間にかそんな悩みははくなっていました。話すときはよく話し、各自のことは各自のみで。そうした適度な距離感を保つことがどんなに大切か、とても考えさせられる貴重な4日間でした。

2つめは、クラスの人たちとの絆です。私は唯一クラス内で分かれて現地の学校に通っていたため、もう一方の学校に通っている皆に会えないことがとても寂しかったです。だからこそ、久しぶりにクラスの皆と再会したときは感極まり泣いてしまうほどでした。たったの3年間という長いようで短い時間の中を共に過ごす人たちというだけなのに、こんなにも寂しさを感じたのだと気付いたとき、皆との時間が自分にとってどれだけ大切なものになっているかを感じることができました。高校生のうちに海外で学ぶという貴重な体験をさせて頂いた以上、家族や先生方に修学旅行での経験が実になっていると思ってもらえるように、これからは今以上に頑張っていきたいと思います。

## 語学研修

## Language Training

2年0組 荒木万友理 (川口市立十二月田中学校出身)



私は、3日間の語学研修でたくさんのこと学びました。

1つ目は、コミュニケーションの大切さです。授業の中で先生に対し英語で質問したり、リアクションしたりする時、黙ってしまうと先生方が困っていました。日本人は、何か分からぬことがあります時、黙ってしまうくせがあると思います。しかし、外国人の人は分かるか分からぬのどちらかで答えるので、日本人の対応がよくないと見られてしまいます。私も、先生の話す中で1つ分からない単語があると何を言っているのか考えてしまい黙ってしまうことがあります。もっと積極的にどういう意味なのか聞くべきだったと思い、後悔しています。しかし、自分のできないところが分かったので良かったと思います。

2つ目は、英語は毎日勉強し、話すことが大切だという事です。話すことで、自分の分からない単語や文法が出てきます。それを自分で調べることで自分のものになると思います。授業の中で、自分が間違えたものがありました。その答えが分かり、とても納得したことが今でも印象に残っています。はずかしがらずに声に出して間違えることで、本当の答えは覚えやすくなるのだと学びました。

この3日間は、とても自分のためになる充実したものになりました。今回の研修を忘れず、これから授業や生活に活かしていきたいです。

## 卒業記念講演

3月1日に3年生対象の卒業記念講演会が行われました。

今回お話をしていただいたのは、アイスキャンディー「ガリガリ君」の生みの親である鈴木政次さんです。国民的ロングセラー商品を数多く生み出してきた鈴木さんが、赤城乳業株式会社に入社し、商品開発部に配属された当初は一生懸命やっても結果が出ず、行き詰まりを感じてばかりだったそうです。しか



し、お客様の視点から商品を考えることにより、徐々に改良していく、ヒット商品を生み出すことに成功しました。また、リーダーにとって必要な要素や、成功するための秘訣などを生徒に質問をしながら説明してくださいました。これから自分たちの進路へ進む卒業生にとって、鈴木さんの講演は今後の長い人生を生き抜くヒントになったのではないでしょうか。鈴木さんの講演会を通じて、自ら問題を発見し、解決できる力を身につけるきっかけになってほしいと思います。

## Morning

# 浦学食堂

浦学食堂の人気の秘訣は、メニューの多さとボリューム。時には、500円でパワーランチも。そして、昨年の9月から朝食も開始。忙しい保護者の方々をサポート。朝から250円でお腹を満たしてくれます。アレルギー表示やカロリー表示など、ここでも生徒の健康と安全を考えた運営を行っております。

## Lunch